

川合信水 （以て） 宗教家。慶應二年十一月十七日（舊曆）生れ、昭和二十七年七月（二百）歿（二八七—一九七）。幼名房之輔。筆名一會貫、可愛子、山月子、川合山月、川合山月六、桂林、河合信水、清流子、無名子、默筆主人、S・D生等。明治二十二年キリスト教に入信、まゝ、巖木善治と知り、女學雜誌社入社。二十八年東北學院神學部卒。のち同學院教師、『函館毎日新聞』記者と經く、前橋市共愛女學校校長、郡是製絲株式會社教育總理等歴任。基督心宗教團を創設し、後年傳道に専心。著書『完全教育創始廿五周年記念講演集及感想』（昭和十一年二月五日京都・郡是製絲株式會社編輯）、『野花片片』（昭和二十年八月再序、無刊記）、『天皇制の統きく』（昭和二十一年三月二十三日附、無刊記）等。文獻、川合道雄著『山月子回顧ノート—近代の文人・思想家たち』（昭和四十年七月）二頁、山月川合信水先生遺著刊行會、山梨・基督心宗教團出版部）等。